

長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名		ながくておんがくDAY スーパー登山部モリコロパークライブ	
日	時	令和7年5月18日（日）	16時00分 開演
場	所	愛・地球博記念公園	
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	スーパー登山部 小田智之（Key）、Hina（Vo）、いしはまゆう（Gt）、梶祥太郎（Ba）、深谷雄一（Dr）		
公 演 内 容	地球市民交流センター体育館前の芝生広場にて開催した屋外ライブコンサート。長久手市文化の家をつきっかけに結成されたバンド、スーパー登山部が出演し、オリジナル曲を披露した。 ・頂き ・風を辿る ・睡蓮の街 ほか		
入 場 者 数	130人		
支 出	委託費		250,000円
	計		250,000円
収 入	入場料		無料公演のため収入なし
	計		0円
回 収 率	0.0%		

アンケート結果 ポーカルの人の声が、透明感があって素敵。ジブリにあいそう。（市内50代、女性）
スーパー登山部、屋外の開放的なステージよかった。（市内、50代男性）
やはり緑のあるところで聴くスーパー登山部さんはいい。楽しかった。（市外、30代女性）

担当者
コメント

愛知万博のテーマは「自然の叡智」であったため、山と音楽をつなぎ、自ら登山しながら自然との共生をテーマに活動するポップスバンド スーパー登山部は今回の事業趣旨に合う出演者となった。リーダーの小田智之は元文化の家創造スタッフであり、長久手DAYにぴったりの人選となった。屋外ライブは心地よく彼らの良さを最大限に引き出すことができた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名		ながくておんがくDAY スカルサクラジェゴグコンサート	
日	時	令和7年5月18日（日）	12時15分 開演
場	所	愛・地球博記念公園	
事業の種類		鑑賞・体験事業	配信 なし
出演者		スカルサクラ （1980年、名古屋音楽大学栗原幸江教授を中心にガムラングループとして結成）	
公 演 内 容		バレガンジュール、トゥルントゥガン、マカプン、ゴバラ	
入 場 者 数		140	
支		出	
		委託費	300,000円
		計	300,000円
収		入	
		入場料	無料公演のため収入なし
		計	0円
回 収 率		0.0%	

アンケート結果 地元にこのような(ジェゴグ)演奏グループがあるのをうれしく思う（市外、60代男性）
めずらしい楽器の演奏を聞く機会があって、よかった（市内、50代男性）
珍しい楽器の迫力ある演奏で、楽器の下に入れるのも面白かった（市外、50代女性）

担当者
コメント 愛知万博20周年を体現するような、国際感あふれるコンサートとなった。ジェゴグが響き始めると一気に南国の雰囲気漂いはじめ、万博の空気を醸し出した。後半には、楽器の下に来場者が入った状態での演奏する時間が設けられ、より楽器を身近に楽しむことができるイベントになった。演奏者と来場者が演奏後に交流し、おしゃべりする時間があったのもよかった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名		ながくておんがくDAY ホルンロー アルペンホルンコンサート	
日	時	令和7年5月18日（日）	①11時00分開演 ②13時00分開演
場	所	愛・地球博記念公園	
事業の種類		鑑賞・体験事業	配信 なし
出演者		ホルンロー （モダン・アルプホルン四重奏団）	
公 演 内 容		アルペンホルン オリジナル曲 ホルンロー作成オリジナル曲 ほか	
入 場 者 数		①80人 ②91人	
支 出		委託費	400,000円
		計	400,000円
収 入		入場料	無料公演のため収入なし
		計	0円
回 収 率		0.0%	

アンケート結果 スイスに行かなくてもステキな演奏が聞けて嬉しく思った（市内、70代女性）
初めてみた楽器でとても新鮮だった。また機会があれば聴きたい（市外、20代男性）
ホルンの音色がとても素敵だった。アルプスの景色がうかぶようだった（市外、50代女性）

担当者
コメント

愛知万博に出演したホルンローに来日依頼し、20年ぶりに同じ場所で演奏してもらうことができた。来場者の反応も非常に好評で、愛知万博を振り返るという今回の企画にとっても合っていた。会場の空間とアルペンホルンの音のバランスが合っており、生演奏を聞くのにぴったりの演奏場所だった。出演者本人たちも非常に喜んで楽しみながら演奏してくれた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名		ながくておんがくDAY 川上ミネ ピアノコンサート	
日 時	令和7年5月18日（日）	①14時30分開演、②17時30分開演	
場 所	愛・地球博記念公園		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	川上ミネ （友情出演 モリゾーとキッコロ）		
公 演 内 容	川上ミネ オリジナル曲（ピアノソロ） CD「NAGAKUTE」より抜粋 ・SAGAMINE ・新しいあなたへ ほか モリゾーとキッコロのテーマ サンチャゴ・デ・コンポステーラ ほか		
入 場 者 数	280	①14:30～ 170人	②17:30～ 110人
支 出	委託費 愛知県との協力事業のため愛知県側が支出 ピアノ運搬調律 97,350円 計 97,350円		
収 入	入場料 無料公演のため収入なし 計 0円		
回 収 率	0.0%		

アンケート結果 まわりの音との調和がすてき。心に響く。ミネさんはいい（市外、60代男性）
風景が目に浮かび、心に響く演奏。こんな心地のよいピアノは初めて（市内、40代女性）
ホール内と違い、モリゾーキッコロも登場し、とても素敵で楽しめた（市内、60代女性）

担当者
コメント

愛知万博のキャラクター、モリゾーとキッコロのテーマ曲を作曲・演奏した川上ミネさんは長久手出身であり、今回の「愛知万博20周年 長久手DAY」というテーマに沿った、とても素敵なピアノコンサートになった。ミネさんも希望していた、モリゾーとキッコロとの共演も叶い、来場者も大きな盛り上がりを見せた。記念オブジェ「地球の樹」の下での演奏も素晴らしい空間を演出してくれた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	中学校であーと（南中学校）		
日 時	令和7年6月26日（木）		
場 所	長久手市立南中学校		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	徳田真侑（ヴァイオリン）、倉橋祐佳里（ピアノ）		
公 演 内 容	ヴァイオリンとピアノによるクラシック音楽のアウトリーチ 【演奏曲目】「四季」より「春」（A.ヴィヴァルディ）、序奏とタランテラ（P.サラサーテ）、ユモレスク（A.ドヴォルザーク）、死の舞踏（C.サン＝サーンス）、南中学校歌（作詞:岩沙 慎一 作曲:水野久一郎）、「なつかしい土地の思い出」より「メロディ」（P.チャイコフスキー）		
入 場 者 数	278	中学1年生8クラス	
支 出	委託費		70,000円
	計		70,000円
収 入	無料公演のため収入なし		
	計		0円
回 収 率	—		

アンケート結果

弦の角度や、ビブラートのかけ具合で全然違うイメージになってすごいと思った。（生徒）
 一曲の中にストーリー性がある、その曲調の変わり目がとても綺麗で、格好良かった。（生徒）
 「死の舞踏」が、骸骨が踊り狂う姿や夜明けのシーンの綺麗な空が浮かぶ演奏だった。（生徒）
 二つ楽器を使う演奏なのに一つで弾いているんじゃないかと思うくらい息が合っていた。（生徒）
 卒業生が来てくださったのは生徒達にとっても喜びであり身近に感じられたと思う。（教員）
 ヴァイオリンに興味を湧いた、好きになったと言っていた生徒がいた。（教員）

担当者
コメント

「であーと」は、文化の家に関わりのあるアーティストたちが、市内小中学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。南中学校出身のヴァイオリニスト徳田真侑氏が、高校の同級生でピアニストの倉橋祐佳里氏とともに中学校であーとに初登場。中学校時代の思い出の曲や、当時憧れていた曲などを披露した。また、ヴァイオリンの美しい音色の出し方の工夫、様々な奏法や弓の仕組みなどを丁寧に説明することで、生徒はそれを踏まえ注意深く演奏に耳を傾けていた。最後に校歌を演奏し、生徒が共に歌うことで、世界で活躍する卒業生でありながら身近な存在でもあることを生徒達も実感していた様だった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	中学校であーと（北中学校）		
日 時	令和7年7月1日（火）		
場 所	長久手市立北中学校		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	徳田真侑（ヴァイオリン）、倉橋祐佳里（ピアノ）		
公 演 内 容	ヴァイオリンとピアノによるクラシック音楽のアウトリーチ A.ヴィヴァルディ：「四季」より「春」 P.サラサーテ：序奏とタランテラ A.ドヴォルザーク：ユモレスク C.サン＝サーンス：死の舞踏 P.チャイコフスキー：「なつかしい土地の思い出」より「メロディ」		
入 場 者 数	241	中学1年生7クラス	
支 出		委託費	70,000円
		計	70,000円
収 入		計	0円
回 収 率	—		
アンケート結果	弾くテクニックによって曲の雰囲気がガラッと変わっていて聴いていてとても面白かったし、演奏が素敵だった。（生徒） 「死の舞踏」という曲の、骸骨の骨が鳴る音を再現しているという説明と、演奏のその部分が印象に残った。（生徒） 音楽は元々大好きでも、でも将来の夢とまでは思っていなかったけど、今回みんなが音楽で楽しんでいる姿を見て、少し目指してみても良いかなと思った。（生徒） バイオリンはやさしいイメージがあったけど、雷の表現などの激しいところを引くところが印象に残った。（生徒） 中には演奏者の方と一緒に写真を撮ったりして中身やお人柄に親しみを覚えた生徒もいた。授業でもある程度の情報は得ているが、目の前で本物の楽器が演奏されるといった相当心が動かされたと思う。（教員） 楽器や演奏に関する情報や演者の自己紹介などが書かれたチラシ（プリント）があるとより興味を持つと思う。（教員）		
担当者コメント	「であーと」は、文化の家にに関わりのあるアーティストたちが、市内中学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。今回は南中学校と北中学校に、ヴァイオリニスト徳田真侑氏とピアニスト倉橋祐佳里氏が出演した。 南中同様に、ヴァイオリンの奏法や仕組みなどを説明がありつつクラシック曲が演奏された。 特に「死の舞踏」では、ストーリー性の強い楽曲の情景が思い浮かぶような演奏であったことが、生徒の印象に残ったようだ。 また、教室を巡る昼食ゲリラ演奏に加え、北中学校ではアトリウムでの演奏会も行われた。クラシック曲以外も披露され、生徒からアンコールが沸き起こり盛り上がった。		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	中学校であーと（長久手中学校）		
日 時	令和7年7月4日（金）		
場 所	長久手市立長久手中学校		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	【文化の家創造スタッフ】音楽系:内田一晟（打楽器）、伊藤天音（キーボード、作曲）、演劇系:屑屋あず、美術系:小西祐矢、高木瞭吾、舞踊系:山崎文香 【事業係】山本宗由		
公 演 内 容	小泉八雲の「むじな」をモチーフにした絵画を題材とした、対話型鑑賞の実践及び文化の家創造スタッフによる音楽、朗読、ダンス、美術の総合芸術の披露		
入 場 者 数	164	中学1年生5クラス	
支 出		委託費	創造スタッフ委託契約に含む
		計	0円
収 入			無料公演のため収入なし
		計	0円
回 収 率	—		
アンケート結果	美術館に行って一つの絵をじっくり見てみたいと思った。（生徒） 絵を言葉で表現するのは意外と難しかった。（生徒） 朗読やダンスから登場人物の気持ちや行動が読み取れて面白かった。（生徒） 苦手だった美術に少し興味を持った。これからは妄想で、もしこの絵が動くならどんな感じか、どんな音楽が聞こえてきそうか考えてみたいと思った。（生徒） 表現の仕方や受け止め方は人それぞれで、様々あって良いことを学んだ。（教員） 最初は何となくぼーっと見ていた生徒の表情がどんどん集中した顔に変わっていったことが印象に残った。（教員）		
担当者コメント	「であーと」は、文化の家に関わりのあるアーティストたちが市内小中学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。長久手中学校では、令和6年度に長久手市へ贈呈された、小泉八雲の「むじな」をモチーフにした絵画をもとに、文化の家創造スタッフが音楽、朗読、ダンス、美術の総合芸術を披露する初めての試みを実施した。まずは、事業係の山本氏が対話型鑑賞のワークを実施。絵を見ている人が見ていない人に作品を言葉で伝えるペアワークであるブライントーク、「むじな」の絵画からどのようなことを感じるかという意見交換した。ひとつの物事に対して様々な見方や受け取り方があるということを生徒が実感したで、創造スタッフによる小泉八雲の「むじな」のストーリーをベースとしたパフォーマンスを披露した。生徒は生のパフォーマンスの迫力に圧倒されていたようだが、アンケート結果を振り返ると、どの表現に圧倒されたか、印象に残ったかは生徒によって多様であった。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	ひらめきの図書館 本とアートが出会ったら プレイベント「私だけの一箱本棚をつくろう！」		
日 時	令和7年7月26日（土）	13:00～15:00	
場 所	中央図書館 AVルーム		
事業の種類	普及・啓発事業		
実 施 内 容	図書館の蔵書を使い、グループにつき1箱分の本棚を作成		
入 場 者 数	10組（13人）		
支 出	印刷製本費	5,100円	
	計	5,100円	
収 入	入場料	無料事業のため、収入なし	
	計	0円	
回 収 率	—		
アンケート結果	内容を知っている本より、初めての本を直感で選ぶことによっていろいろな本に出会うことができた（市内、20代女性） 対象年齢が書かれていなかったのも、下の子には少し早かったかも（市内、30代女性） 自分の好きな本を集めてみると、楽しくて時間があっという間に過ぎた（市内、40代女性）		
担当者 コメント	ひらめきの図書館のプレイベントとして実施した。図書館の本から自分の好きなテーマで5冊程度の本を選んでもらい、選ばれた本は企画展で展示を行った。選んだ本には今回のために作成した「ひらめきのしおり」を使い、気に入ったページにコメントをつけてしおりをはさんでもらった。会期中には、参加者の知り合いが実際に展示を見に来ることもあり、プレイベントとして機能していたといえる。全体として満足度は高かったが、未就学児には難しかったため対象年齢を書いてほしいとの要望もあった。		





長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	これが公民館の最先端 これからの公民館がつくりだす新しい幸せの形		
日 時	令和7年8月2日（土）	14:00～16:30	
場 所	中央図書館 AVルーム		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	牧野篤（大正大学教授／東京大学名誉教授）		
公 演 内 容	社会教育と公民館に関する講演会		
入 場 者 数	19人		
支 出	委託費	80,000円	
	印刷製本費	5,100円	
	計	85,100円	
収 入	入場料	無料公演のため収入なし	
	計	0円	
回 収 率	0.0%		

大変勉強になった。これからも有意義なセミナーの開催をお願いしたい（市外、50代女性）
 アンケート結果 学ぶこと、教育する・受けることの多様さと、歴史的変化を大きく感じた（市外、40代男性）
 もう少し質疑時間がある方が生きた講座になると思う（市内、50代男性）

担当者
コメント

長久手市生涯学習プランの策定に合わせて、公民館の今後について市民と一緒に考えるための講座を開催した。講師は公民館研究で多数の著書をもつ牧野篤教授に依頼。これからの社会が直面する変化と、そこに公民館が何ができるのかを解説していただきながら、長久手市の公民館のこれからを考えるきっかけとなった。講義のあとの質疑応答も活発に行われたが、終了時間が遅くなってしまったため、議論の時間も含めてスケジュールを組む必要があった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	保育園 工作WSくっつけまつり		
日 時	令和7年8月7日（木）		
場 所	長湊東保育園		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	小林大地（造形作家、元文化の家創造スタッフ）		
公 演 内 容	木片や、小瓶、ビンのフタ、せんたくばさみ、ビーズや小石など、いろんな材料を自由にくっつけて、「何か」を作る未就学児に特化した工作ワークショップ。「何か」という漠然とした広い範囲で考えることで、子どもたちが、自由に作り始めることができ、個性を発揮することができる。創造性を刺激するアウトリーチワークショップとして実施した。		
入 場 者 数	60		
支 出	委託費	60,000円	
	計	60,000円	
収 入	入場料	無料事業のため収入なし	
	計	0円	
回 収 率	—		
アンケート結果	たのしかった（年中、男子） もっとつくりたい（年長、女子） 来期、閉園となる東保育園。子ども達に思い出が増えて、本当によかった（園長）		
担当者コメント	令和8年度末で閉園になる東保育園園長「子ども達に楽しい思い出をたくさん作ってほしい」との思いから文化の家に依頼があり実現した。同保育園は、閉園に向けて年少クラス（3歳児）以下は在籍しておらず、在籍する年中クラス（4歳児）・年長クラス（5歳児）両クラスが体験した。非常に個性豊かな作品が生まれた。子どもたちは終了時刻になっても作品制作に夢中になっている子が多く、その集中力に驚かされた。 		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名		リニモテラスジャズライブ	
日	時	令和7年8月9日（土）	19時00分 開演
場	所	リニモテラス公益施設	
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	Amane Trio 伊藤天音（創造スタッフ／電子ピアノ）、北條 弘大（ベース）、崎田 治孝（ドラム）		
公 演 内 容	St.paul（Cory Wong）、footprints（Wayne Shoter arr.Terence Blanchard）、For roy（Hunter tones）、country（Keith Jarrett）、Sly（Herbie Hancock arr.J3PO） en.) Cookie（Amane Ito）		
入 場 者 数	45	入場率	112.5%
チケット料金	大人500円（ワンドリンク付） 中学生以下無料		
支 出	委託費		30,000円
	チラシ印刷費		4,420円
	計		34,420円
収 入	入場料		20,500円
	計		20,500円
アンケート結果	ジャズライブ始めてでした。知っている曲は無かったけど、全て楽しめた。（市内、40代女性） 音楽デリバリーいつも聴いています。子どもも大すきで、今日の演奏会のチラシをみつけてきて、行きたいと言うので来ました。（市内、30代女性） ジャズ初心者にも楽しめる内容で良かった。（市内、50代男性）		
担当者 コメント	文化の家休館期間中にリニモテラスへ場所を移し、夜の時間帯に、飲み物や食事を楽しみながら、気軽に楽しめるジャズライブを音楽系創造スタッフの伊藤天音が企画。初回となった令和7年3月の公演では、想定以上の来場者数となり、ステージが見えない来場者が発生したため、今回はワンドリンク制とし、広報告知の手段を絞って開催した。定員を大きく上回ることはなく、良い雰囲気となった。お盆期間のため、ジャズコンサートを初めて聞くお客さんもいたが、Amane Trioの選曲もよく、初心者でも聴きやすい演目だったとの声も多かった。		



長久手市文化の家 自主事業報告書

ひらめきの図書館 本とアートが出会ったら 関連イベント			
吉成信夫×土肥潤也対談イベント			
「にぎわいが生まれるコミュニティづくり～これからの文化拠点の可能性～」			
日	時	令和7年8月17日（日）	13:00～15:30
場	所	中央図書館 AVルーム	
事業の種類	普及・啓発事業		
講師	吉成信夫（元ぎふメディアコスモス総合プロデューサー） 土肥潤也（みんなの図書館さんかく館長）		
実施内容	吉成信夫氏と土肥潤也氏による対談イベント		
入場者数	64人		
支出	講師料	200,000円	
	計	200,000円	
収入	入場料	無料公演のため収入なし	
	計	0円	
回収率	—		
アンケート結果	今までの固定概念の考え方をとっぴらった発想に衝撃を受けた（市内、50代女性） 「図書館は屋根のない公園」はいい言葉だった（市外、70代男性） タイムスケジュールが事前にわかっていたらよかった（市外、50代女性）		
担当者コメント	ひらめきの図書館の関連企画第一弾として実施した。文化施設でのにぎわいづくりをテーマに、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の元総合プロデューサーである吉成信夫氏と、「みんなの図書館さんかく」で全国的に有名になった土肥潤也氏による対談を企画。対談の中では、にぎわいが生まれるために必要なことや、文化施設のあり方についてのテーマが浮かび上がった。2時間半にわたる長丁場のイベントだったが、来場者からの満足度は高く、密度の濃い議論に感化された様子が伝わってきた。		



長久手市文化の家 自主事業報告書

ひらめきの図書館 本とアートが出会ったら 関連イベント			
吉成信夫×土肥潤也対談イベント			
「にぎわいが生まれるコミュニティづくり～これからの文化拠点の可能性～」			
日 時	2025年8月17日（日）	13：00～15：30	
場 所	中央図書館 AVルーム		
事業の種類	普及・啓発事業		
講師	吉成信夫（元ぎふメディアコスモス総合プロデューサー） 土肥潤也（みんなの図書館さんかく館長）		
実 施 内 容	吉成信夫氏と土肥潤也氏による対談イベント		
入 場 者 数	64人		
チケット料金	無料		
支 出	講師料	200,000円	
	計	200,000円	
収 入	入場料	0円	
	計	0円	
回 収 率	0.0%		
アンケート結果	今までの固定概念の考え方をとっぴらった発想に衝撃を受けた（市内、50代女性） 「図書館は屋根のない公園」はいい言葉だった（市外、70代男性） タイムスケジュールが事前にわかっていたらよかった（市外、50代女性）		
担当者コメント	ひらめきの図書館の関連企画第一弾として実施した。文化施設でのにぎわいづくりをテーマに、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の元総合プロデューサーである吉成信夫氏と、「みんなの図書館さんかく」で全国的に有名になった土肥潤也氏による対談を企画。対談の中では、にぎわいが生まれるために必要なことや、文化施設のあり方についてのテーマが浮かび上がった。2時間半にわたる長丁場のイベントだったが、来場者からの満足度は高く、密度の濃い議論に感化された様子が伝わってきた。		





長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	ひらめきの図書館 本とアートが出会ったら 関連イベント 音楽付きおはなし会「走れメロス」		
日 時	令和7年8月23日（土）	14:30～15:00	
場 所	中央図書館 AVルーム		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	屑屋あず（朗読／演劇系創造スタッフ）、伊藤天音（作曲・ピアノ／音楽系創造スタッフ）、内田一晟（打楽器／音楽系創造スタッフ）		
実施内容	走れメロス		
入 場 者 数	32人		
支 出	印刷製本費	4,677円	
	計	4,677円	
収 入	入場料	無料公演のため、収入なし	
	計	0円	
回 収 率	—		

アンケート結果 声、音楽ともによかった（市内、40代女性）
日本の文学からまたやってほしい（市内、50代女性）
3人の掛け合いが妙だった（市外、60代男性）

担当者
コメント

ひらめきの図書館の関連企画第二弾として実施した。これまで文化の家で実施してきた「朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ」を、図書館用に「音楽付きおはなし会」と称して、太宰治の名作『走れメロス』を創造スタッフ3人で上演した。朗読に合わせて演奏は即興でつけられ、照明効果も相まって好評を博した。今回は対象を小学5年生以上推奨としたことから、集客が伸び悩んだため、次回は対象年齢にも配慮しながら作品を選定したい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	ひらめきの図書館 本とアートが出会ったら 関連イベント 製本ワークショップ「糸綴じの自由帳を作ろう」		
日 時	令和7年8月26日（火）	①10:00～12:00 ②14:00～16:00	
場 所	中央図書館 AVルーム		
事業の種類	普及・啓発事業		
講師	中川京子（製本作家）		
実 施 内 容	自由帳の製本		
入 場 者 数	12人		
チケット料金	1,000円		
支 出		中央図書館が支出	
		計	0円
収 入		入場料	中央図書館が回収
		計	0円
回 収 率			—
アンケート結果	いつも自己流だったため勉強になった（市外、70代女性） かわいとおしゃれなノートができて嬉しかった（市内、30代女性） 少人数で丁寧に教えていただき、とても楽しかった（市外、50代女性）		
担当者 コメント	ひらめきの図書館の関連企画第三弾として実施した。東海圏では珍しい製本作家で、愛知県立芸術大学の卒業生でもある中川京子さんをお呼びした。申し込み開始直後から人気があり、午前午後の2回開催としたが、どちらも早々に満席となった。今回は子どもでもできる難易度の高くないものをしていただいたが、自分で製本して自由にデコレーションも楽しめる内容になっており、子どもから大人まで満足度の高いものとなった。一度に対応できる人数が多くないため、今回参加できなかった人向けに継続的に開催していきたい。		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	ひらめきの図書館 本とアートが出会ったら 関連イベント はじめての小説を書いてみよう		
日 時	令和7年8月28日（木）	10:00～12:00	
場 所	中央図書館 AVルーム		
事業の種類	普及・啓発事業		
講 師	高木瞭吾（美術系創造スタッフ）		
実 施 内 容	小説を書くワークショップ		
入 場 者 数	10人		
支 出	印刷製本費		16,658円
	計		16,658円
収 入	入場料	参加費無料のため収入なし	
	計		0円
回 収 率	—		

アンケート結果 とても楽しくたくさんかけた（市内、10代女性）
自分の思ったままかけてよかった（市内、10代女性）
リレーがとても楽しかった（市内、10代女性）

担当者
コメント

ひらめきの図書館の関連企画第四弾として実施した。美術系創造スタッフで、自身も小説を書いている高木さんによる初めてのワークショップ。今回は小学5年生～中学3年生までを対象に実施した。最初に起承転結をグループで体験する「物語リレー」を実施して、その後1時間ほどで小説を書き上げた。最後にお互いの小説を読む時間も設けられ、互いに感想を書き合った。楽しくかけたという感想が多く、はじめての創作体験がよいものになったようだった。今後は対象を変えての実施も目指したい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名		創造スタッフによる保育士向け打楽器講座	
日 時	令和7年8月28日（木）	16時30分 開演	
場 所	上郷保育園		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	内田一晟（文化の家創造スタッフ） 水野利香（生涯学習課会計年度任用職員）		
公 演 内 容	・ 打楽器の基本的な扱い ・ リズム感がつかめない子へのアプローチ方法 ・ 子供たちへのリズム打ちの方法 ・ ドラムサークル体験		
入 場 者 数	46	入場率	102.2%
支 出		委託費	創造スタッフ委託契約に含む
		計	0円
収 入		入場料	無料講座のため収入なし
		計	0円
回 収 率	—		
アンケート結果	最後、大きな円になって合奏した一体感がとても楽しかった。 まだ子ども達に楽器を教える経験をしたことがないので、今回学んだことを活かして音楽の楽しさを子ども達に伝えることができるようにしていきたいと思った。 生の音楽は楽しいな、と実感した。 子ども達と楽しくリズムで遊べる遊びを知ることができて良かった。		
担当者コメント	この講座は、児童館デリバリーで訪問したことをきっかけに、隣接する市内保育園の保育士からの要望で実現した。市内公立保育園の保育士が多く参加した。事前に打楽器に関する悩みや知りたいことなどをアンケートを行い、講座内容にも反映した。打楽器の扱い方やリズムの取り方教え方、打楽器を使ったリズム遊びなどを伝えると、参加者からはうなずきや歓声が上がっていた。最後には、ドラムサークルを体験し、音で表現をする楽しみを感じてもらった。		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	ひらめきの図書館 本とアートが出会ったら 関連イベント 三宅香帆トークイベント「言葉にならない好きを言葉にする」		
日 時	2025年8月31日（日）	14：00～15：30	
場 所	中央図書館 AVルーム		
事業の種類	普及・啓発事業		
講師	三宅香帆（文芸評論家）		
実 施 内 容	文芸評論家の三宅香帆氏によるトーク ※午前中に「働いていて本が読めない人のための読書会」を実施		
入 場 者 数	98人		
チケット料金	無料		
支 出	講師料	135,000円	
	計	135,000円	
収 入	入場料	0円	
	計	0円	
回 収 率	0.0%		
アンケート結果	お話がわかりやすくて楽しかった（市内、40代女性） YouTubeで拝見していた三宅さんが長久手にくるなんてと感激しました（市内、50代女性） 言語化のステップを具体例を交えてお話いただき大変参考になった（市内、40代男性）		
担当者 コメント	ひらめきの図書館のラスト企画として実施した。『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』でベストセラー作家になった三宅香帆氏を招いて、著書の『「好き」を言語化する技術』にちなんだトークイベントとした。トーク終了後は20分にわたる質問タイムもあり、来場者の満足度が高いものとなった。受付開始直後から申し込みが相次いで、定員を締めきった後も連日問い合わせが続き、人気の高さが窺えた。今回のトークイベントで初めて長久手に来た人もおり、常設展を見てもらうきっかけにもなった。		





令和7年度前期アートデリバリー実施報告

長久手市内の児童館等で、乳幼児を含む親子や劇場に足を運ぶことが難しい市民に対して、創造スタッフが定期的に訪問演奏会などを実施している。

出演者	内田一晟（創造スタッフ、パーカッション） 伊藤天音（創造スタッフ、鍵盤・作曲）
-----	--

	日程	訪問場所	参加者数
1	5月22日(木)9:45～	西児童館	68人
2	5月22日(木)11:00～	市ヶ洞児童館	58人
3	6月13日(金)9:45～	北児童館	98人
4	6月13日(金)11:00～	青少年児童センター	156人
5	7月9日(水)9:45～	南児童館	21人
6	7月9日(水)11:00～	上郷児童館	141人
			合計 542人

